

株式会社生田合金鑄造所様

(3403-100850-6)

呉市広多賀谷1-4-2



求人票



ホームページ

事業所訪問に行ってきました！

- * 終戦後、自己の技術を生かし昭和21年3月、呉市広中新開に生田工業を設立。呉海上自衛隊、呉造船所（現、JMU）、広造機（現、新日本造機）等の軽合金鑄物の製作を始めました。
- * 当社は発足以来、シリンダー・ピストン等のエンジン部品を中心に重要部品に意を注ぎ、不良率を下げるための独自のアルミ合金鑄造技術『IKUTA ALLOY』を磨いてきました。
- * 現在はエンジン部品・車両用ブレーキ部品等に加え大西電機工業様・西芝電機様により、船舶用ファンや各種産業機械用部品等の受注を多く頂いております。



人工砂と特殊な樹脂をまぜ砂型をつくります。



砂は回収し再利用します



船に使われる送風機用プロペラ

アルミを溶解釜で溶かします。



アルミの注湯です。
温度は700～750度になります。



アルミ鑄物の生産ラインの生型
造型ラインです。

熱中症対策：各自
午前午後各15分
休憩します。食堂
と別に休憩室があり
ます。



食堂



砂型から製品を取り出し、ハンドショット、
グラインダー仕上げ等をした後、バン
ガーショット（研掃）を行います。

最終工程



焼き入れ・焼き鈍し



出荷前検査
硬さ試験は、小物から大
物まであらゆる位置で試
験を行えます。

熱中症対策に冷風機を導入

